

「自治体行政におけるナッジの活用」

(公財)中国地域創造研究センターは、中国地域が抱える様々な課題をテーマに取り上げ、調査・分析したレポート「中国地域白書」を中国電力株式会社と共同で刊行しています。最近の白書では、新たな人口関連施策の方向性とそのアプローチ方法について提言する中で、人々の意識を行動に結びつけるためのトリガーの重要性を指摘してきたところです。

人口減少や限界集落、公共交通問題など切迫した地域課題を有している中国地域において、自治体では、より効率的・効果的な行政運営が求められています。2025年に刊行予定の白書においては、ナッジ理論の有用性に着目し、実証実験等を通じて、自治体における活用の可能性を高める研究を進めることとしております。

本セミナーは、そのキックオフの場と位置付け、行動経済学の第一人者である大阪大学の**大竹文雄**教授より、「自治体行政におけるナッジの活用」をテーマにお話をいただき、ナッジの基本的な考え方を理解し、ナッジを自治体行政にどのように活かしていくのか、実践的な手法を学びます。

日時

2024年 **3月6日** (水)
10:00 ~ 11:30

実施方法 **オンライン (Zoom)**

参加費 **無料**

定員 **500名 (先着順)**

申込み方法

参加ご希望の方は、下記の申込フォームからWebサイトにアクセスし、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。後日、参加URLをお送りいたします。



※ Webサイト

<https://questant.jp/q/haku24seminar>

申込み締切 **2024年3月1日** (金)

プログラム

10:00 挨拶・趣旨説明
10:10 基調講演
「自治体行政におけるナッジの活用」
11:20 質疑応答

講師

大阪大学感染症総合教育研究拠点
特任教授

おおたけ ふみお
大竹 文雄 氏



京都府出身。京都大学経済学部。大阪大学経済学研究科修了。博士(経済学)。大阪大学経済学部助手、同大学社会経済研究所教授、同大学大学院経済学研究科教授等を経て、2021年4月から現職。専門は、行動経済学、労働経済学。著書に「日本の不平等～格差社会の幻想と未来」(サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞、エコノミスト賞、日本学士院賞受賞)、「競争社会の歩き方～自分の「強み」を見つけるには」、「医療現場の行動経済学～すれ違う医者と患者」(共著)、「行動経済学の使い方」など。

主催 (公財)中国地域創造研究センター

協力 中国電力株式会社

お問い合わせ

(公財)中国地域創造研究センター

Tel : 082-241-9952

E-mail : k_tanaka@crirc.jp